

あいあいあい

I eye 愛

2018年
11月号



10月13日「田んぼに行こう!」秋の郷みどり会の無農薬交流田

あいコープのお米に見出す「食糧以上の価値」

常務理事 吉武悠里

今年も稔の秋をむかえ、つややかな新米とともに秋の味覚が楽しめる季節になりました。

燃料を多用する栽培方法や物流、保管技術の「進歩」によりスーパーにはほとんどの野菜が一年中並び、旬を知らない方が増えてしまうのは仕方がないことです。例えば、「夏もホウレン草を取り扱ってほしい」というお申し出をよく頂きますが、当然ながらホウレン草の旬は冬。夏のホウレン草のビタミンCは冬の3分の1程度、対して価格は2〜3倍です。同様に夏のトマトは冬の2倍の栄養価があります。栄養価や美味しさも含めて「旬」を知ることが、自然の循環を知ることであり、命と健康を守り自然と共生する先人の知恵を知ることにもつながります。

さて、あいコープでは昨年よりも多くの組合員さんに産直米登録利用の申し込みをいただきました。この登録米という制度は、一年分のお米を事前に産地に予約するという、一般的には異例の取り組みです。ではなぜ多くの組合員さんがあいコープのお米を利用してくれるのでしょうか?それは、あいコープの産直米に「食糧以上の価値」

があるからではないかと考えています。

例えばあいコープ代表産地の一つ、大郷みどり会。自家栽培の飼料米を鶏の餌にして、鶏糞を堆肥にして田んぼや畑に戻すという循環型農業を実践しているみどり会は、あいコープと理念を古くから共有してきました。消費者と連帯し、環境保全と資源循環による農村づくり、先進的に挑戦してきたみどり会は大変貴重な産地ですが、生産現場での苦労は大変なものです。特に異常気象に悩まされる近年では、経営リスクも伴い、耕作放棄地の激増や労働力不足などの深刻な課題もあります。他の県内産直産地の七郷みつば会、はさま自然村も同様に、困難に直面しながらも、ネオニコチノイド系農薬を使わない稲作にいち早く取り組み、常に新たな挑戦を続けています。

あいコープはそんな様々な課題について組合員が共有して米や野菜を利用することで、共生社会の実現に向けて産地と共に歩み続けてきました。あいコープのお米を食べることは、生命あふれる田んぼと里山を守り、都市や農村で暮らす人たちがすべてが共生できる未来につながる「価値」があるのです。

CONTENTS

- ▶ 秋のフォーラム開催情報 … 2
- ▶ やっべしりんごツアー報告 … 3
- ▶ ながめやま牧場 1 泊見学 … 4-5
- ▶ 環境学習会報告 … 6
- ▶ スマホ・SNS 学習会報告 … 7
- ▶ 生産者さんにあいに行こう! 東北おひさま発電の巻 … 8

美味しく食べて、楽しく学ぶ 秋のフォーラム

今年は
オール
500円

「秋のフォーラム」とは、どなたでも参加できる、
あいコープ組合員が主宰する**商品学習会**です。
試してみたかった商品を試食したり、
いつも買っている商品を活用する方法などを学んだり。
また、どうやって商品が作られているか
市販品との違いやこだわりなども知ることができます。
今年のテーマは「PB（プライベートブランド）」です。
どうぞ足をお運びください。



- ◆持ち物
エプロン・三角巾・筆記用具
- ◆参加費
一律 500円
- ◆受付
9:45 受付開始
- ◆時間
10:00~13:00

お問合せ・お申込み (担当 豊嶋)
TEL 0120-255-044
FAX 0120-849-324

| 日程 | 地区・会場 | 定員 | 内容 | 〆切日 |
|--------------|---|----|---------------------------------------|--------------|
| 11/15 (木) | ①しおさい&宮城野 (合同) 宮城野区中央市民センター 調理室 託児室：和室2 | 20 | さらに美味しく！！菜種油活用術 | 11/2 (金) |
| 11/16 (金) | ②泉B 桂市民センター 調理室 託児室：和室1 | 25 | 大郷みどり会とタンポポ村の ごちそうデリサラダ作り | 11/2 (金) |
| 11/22 (木) | ③若林 七郷市民センター 調理室 託児室：和室3 | 20 | パスちゃん牛乳で モツアレチーズを作ろう！ | 11/9 (金) |
| 11/22 (木) | ④太白 富沢市民センター 調理室 託児：和室2 | 20 | お醤油の魅力再発見！ ～おしょうゆの使いこなし技～ | 11/9 (金) |
| 11/27 (火) | ⑤仙南 名取市愛島公民館調理室 託児室：和室 | 20 | 花兒園さんといっしょに♪ 花たまごでランチ | 11/16 (金) |
| 11/27 (火) | ⑥泉A 桂市民センター 調理室 託児室：和室2 | 25 | いつもの材料が生まれ変わる！ わくわく♪おもてなしレシピ | 11/16 (金) |
| 11/28 (水) | ⑦青葉A&B (合同) 青葉区中央市民センター 調理室 託児室：小ホール | 20 | 丸大豆醤油の秘密教えます！ ～おしょうゆ活用術～ | 11/16 (金) |
| 11/29 (木) | ⑧石巻 東松島市コミュニティーセンター 調理室 託児室：2階和室 | 20 | ふだんづかいの菜種油活用術 ～カラダがよろこぶ、やさしい、おいしい～ | 11/16 (金) |

6年目！『やっぺしりんご』の畑を見に行こう！ ツアー 報告



山形県天童市の「天童果実同志会」の皆さんはネオニコチノイド系農薬を使用せず果物を栽培しています。特にりんごは「農薬で作る」と言われるほど減農薬栽培が難しいとのことですが、「んじやま、やっぺしりんご」と挑戦して下さり、その取り組みは6年目となります。

恒例となった園地見学ツアーには、今年もたくさんの方々が参加されました。今年も例年よりも黒星病（果実の表面に黒い斑点ができる病気）などの病気が少なかったものの、猛暑の影響で果実に日焼けやキズが付いてしまったりと、畑には収穫間近のりんごやラフランスがたわわに実っていました。その陰には冬場の樹木の剪定や管理、春からは摘花作業、夏の暑さの中での摘果や果実の管理など、生産者の皆さんの日々の努力があるのだと実感することができました。

理事 安部 有理

＝ 地連・県連集会報告 ＝

9月6日、仙台市秋保温泉「ホテルニュー水戸屋」にて、北海道・東北地連組合員活動交流会が開催されました。10生協54名の参加がありました。

『楽しい出会い♡役立つヒント！みんなで見つけてみよう！』をキヤッチコピーに、生協の良さを学び合い、お互いの地域活動が元気になるヒントを得た2日間となりました。

また、9月26日には『消費者のくらしと権利を守る第39回宮城県生協組合員集会』が仙台サンプラザホールで行われました。県内16生協から926名の組合員参加がありました。各生協の取り組み発表に続き、「第九条」という憲法改正の是非を問う映画上映があり、その後「平和憲法を守ろう！」をはじめとしたシュプレヒコールで会場の気運が高まりました。

今年もエコフェスタに出展しました



9月2日、勾当台公園市民広場で開催された「エコフェスタ2018」に出展しました。火からおろした鍋を包むだけ！でおなじみ、余熱でエコ調理す

る「鍋布団」と、昨年から取り次ぎを始めた「バルステムでんぎ」のご紹介をし、時折小雨が降る中多くの市民に立ち寄っていただきました。

「昔、母が鍋を毛布で包んで煮込んでたわー」と懐かしむように展示された鍋布団を眺める女性や、作り方を熱心に聞いて帰られた方も。

意外に多くの方が余熱調理をご存知の様子です。ぜひ実践していただきたいと思いました。

ながめやま牧場に行こう 2018 親子体験

お泊り

ツアー 9/15~16

放牧パスちゃん牛乳の美味しさの理由がわかりました!!



あいコープは、2013 年から、毎年飯豊ながめやま牧場ツアーを開催しています。ここ最近のツアーでは雨や暑さによって放牧の様子を見学することができず・・・今年こそは何としても放牧の様子を見たい!と一泊ツアーを企画し、26 家族 65 人が参加しました。



あいコープが取り扱う牛乳は『放牧パスちゃん牛乳』だけです。自由に動き、牧草地で草を食べながらのびのび暮らす牛の牛乳が欲しいという願いは、2013 年について叶えることが出来ました。

あいコープのイメージキャラクターでもある『パスちゃん』のふるさと・ながめやま牧場は、山形県飯豊連峰のふもとにあります。その広さは 180ha、なんと東京ドーム 38 個分! 牛達にとっては理想的な環境です。

ながめやま牧場は本州で初めて『放牧酪農』認定された牧場であり、『放牧パスちゃん牛乳』は日本初の『放牧酪農牛乳』です。殺菌温度は低めの 75℃(一般的には 120~130℃)なので、牛乳本来の風味を味わえます。



放牧の様子を満喫♪

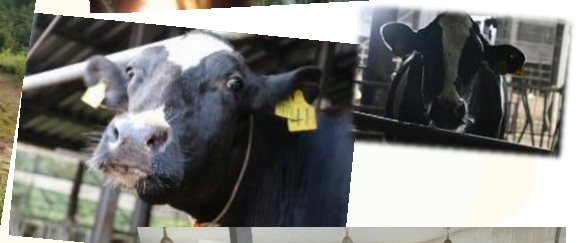
牧場に到着してすぐ、牧草地を歩く牛達に会えました! その様子に一同感動!



一般的には牛舎で繋がり一生を終える牛が多い中、ここの牛たちは幸せなんだろうなあとしみじみと思ったのでした(*^▽^)



きぶんは酪農家(*^^)v
いろいろな経験ができました



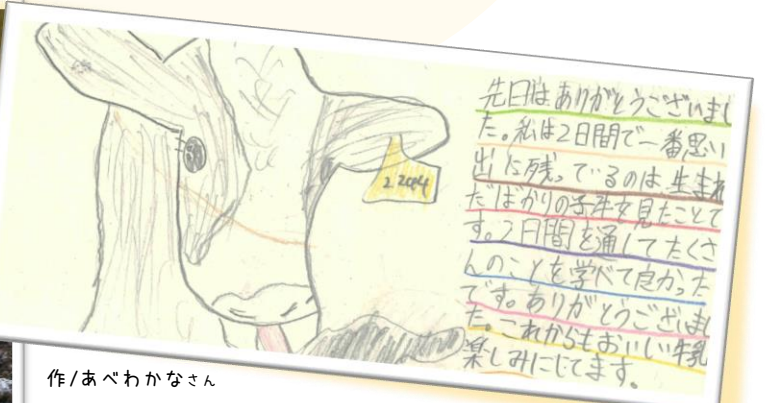
作/さとうこたろうさん

作/うるしやまみずさん

牛を思い、牛乳を飲む私たちを思い、毎日命にかかわって働くながめやま牧場の皆さま。「ありがとうございます」



2日目の朝、子牛がうまれました♪
母牛は、一生懸命子牛の体をなめています。



作/あべわかなさん

9/23 県民投票キックオフ

9月23日東京エレクトロンホール宮城で、女川原発再稼働の是非を問う県民投票条例を求める署名運動のキックオフ集会在開催されました。会場は満席、用意した資料も足りなくなるほどの参加者が集まりました。最初にみんなで決める会の多々良哲代表から県民みんなの意思で女川原発の再稼働の是非を決める県民投票条例制定を求める住民直接請求の意義について提起があり、県民投票条例案の内容と署名運動の具体的な進め方についての説明を参加者で確認しました。条例案が県議会に上程されるには約4万筆が必要です。署名用紙の取り寄せ・お問い合わせは022-724-7627 みんなで決める会まで。



種子(たね)に注目! これは何のたね?



サヤの長さは6~7cmほど。開くと中に小さな種が並んで入っています。なんだか愛らしいかたちですね。

始めよう！続けよう！
石けん生活

石けん環境委員会
環境学習会報告

私の選択が海の生き物も自分も守る！

9月28日 化学物質と海洋汚染学習会

9月28日に開催された学習会では、東京農工大学の高田秀重先生にお越しいただきました。

私たちが普段何気なく使っているプラスチック製品や化学繊維は、ポイ捨てや適切に下水処理されずに環境に放出されることで、最終的に海に流されます。それを魚や鳥が餌と間違えて食べてしまうそうです。また、紫外線を受けて粉々になった「マイクロプラスチック」は、合成洗剤などに含まれる化学物質が流れ込んだ海中を漂ううちにその成分を吸着し、誤食した生き物の体内に残り続けるという恐ろしいものだと、いうことを学びました。

もし今のままプラスチックを使い続け、海に流していたら数十年後には海にいる魚の量とプラスチックごみの量が同等もしくは上回ってしまう、という話をお聞きして、どうしたらこれ以上プラスチックに依存しない生活ができるだろう

かと、改めて考えるきっかけとなりました。

具体的には、過剰包装は断る、プラスチック製品の宝庫である100円ショップでは慎重に商品を選ぶ、食器は陶器や木、竹などの素材を選ぶ、衣服は綿や麻、ウールなどの天然繊維を選ぶ、など、「安いから、便利だから」という目先の利益だけではなく、「自然に還るものか、持続可能なものか」という視点をもって「買う・買わない」の選択をしていきたいと思いました。

石けん環境委員 福島祐子



市議会議員2名を含む46名もの参加者が熱心にお話を聴きました

まんま通信のあるくらし

9/5 (水) 魚プロ学習会

自分でさばいた魚の味に、感動！

「魚屋さんから教える包丁の研ぎ方&魚のさばき方講座」



島香専務による3枚おろしの実演

「魚屋さんが教える包丁の研ぎ方&魚のさばき方講座」
包丁で、切れない包丁で調理するのは魚に申し訳ないと感じました。早速切れる包丁にするべく、研ぎに挑戦。何とも小気味よい音と感触で無事切れる包丁になりました。

次に研いだ包丁を使って汐子(しよっこ。東北ではイナダの別名)をさばきます。三枚おろしの骨の部分が少し厚めになりましたが、自分でさばいた魚を味わう楽しさとおいしさに感動しました。

島香さん曰く、「魚のさばきも包丁研ぎも経験を積み重ねていくことが一番です。」ご自身も前職はIT関係の仕事で、経験の無いところから魚の目利き、さばきを習得されたと同じ、私も修行を積みたいたいと思いました。しまかさんの鮮魚セット、楽しみにしています。

青葉A地区組合員

木口裕美

理事会議事録抄

2018年10月2日(火)

▼総代会における質疑への理事会回答を承認した。
▼タンポポ村ウィナー類のリニューアル企画書を承認した。
▼PBスイーツプロジェクト開発企画書を承認した。
▼有機アボカド取り扱い開始企画書を承認した。
Wa!わぁ祭り実行委員会の報告と提案を承認した。
▼「原発」県民投票条例の制定を求める署名活動企画案を承認した。
▼ジョイケア企画「暮らしとところの古い支度」企画書を承認した。

組織概要

(2018年9月分)

| | |
|----------|-------------|
| 【組合員数】 | 14,893名 |
| 【供給高】 | 178,234千円 |
| 【一人実利用高】 | 4,999円/週 |
| 【出資金】 | 1,115,680千円 |



⑤ P4の答え たねの正体は、^①大根^②アブラナ科らしく、たねはサヤに包まれています。サヤの形が、大根そのものみたいですね。編集部

親子の話し合いのチャンス逃さずに！



カセットテープ世代には戸惑う事ばかり…

10月9日、宮城教育大学技術教育講座の安藤明伸准教授を迎え「まさかこんなことになら続出?!スマートフォン、SNSとの上手な付き合い方」を開催しました。

子ども達に身近なスマートフォン(以下、スマホ)とSNSについて、それぞれの特色やメリットとデメリット、トラブル対策をわかりやすく教えていただきました。

例えば、今人気の動画アプリでは、中高生自ら手軽にカッコイイ画像を作って投稿できます。しかし、中には学校の体操着で踊っている動画があり、学校名・名前が映り込んでいま

た。動画を撮る時は服装や背景の映り込みに気を付け、位置情報を無効にする対策が必要だそうです。私自身、スマホが生活必需品になりつつありますが、最近スマホを欲しがら娘に持たせる事には不安がありました。携帯やスマホが欲しいと言った時、実は話し合えるチャンスなのだそうです。親と子どもの当たり前には大きなギャップがあるので、まずは持たせる前に家庭のルール・約束作りが大事になるそうです。「勉強中、食事中は使用しない」「お店等で勝手に充電しない」等、親の常識と子どもの常識をすり合わせる。そして「フィルタリングを使う」のを忘れずに。フィルタリングを使わないのはシートベルトなしで車を運転するのと同じくらい危険な事。

まさかこんなことに?!にならない為にも、子ども達を取り巻く世界に目を向けて、まずは家庭でのコミュニケーションを大切にしていきたいと思えます。

ジョイケア担当理事

石川佳名子



四半期集会報告・魚食学習会



10月9日、間宮商店の間宮社長をお迎えし、新商品「近海マサバふっくら酒汐干し」について学習しました。現在、組合員に魚の魅力を伝え広める魚食プロジェクトが、理事・職員・生産者のチームで進められています。その

成果として開発された新酒汐干しについて間宮社長の想いや原料魚の選び方、製法のこだわりについて深く学ぶことができました。市販品と食べ比べてみると魚臭さがなくふっくらとして旨味がありました。配達の際にこの美味しさを組合員の皆さんへ伝えて行きたいと思えます。事業部 リーダー 高橋竜一

編集後記

9月、ながめやま牧場で念願の牛達の放牧風景を観てきました(前回は雨で叶わなかったのです)。出産後の、お乳が張った牛達を見て、普段頂いている沢山の食べ物、命の恩恵を受けている事を実感した感動的な体験でした。そしてまた、牛たちの食料を作る人、お世話をする人、牛乳を運送する人、パックに詰める人、配達して玄関先まで届けてくれる人…。食べることは、命を頂くことであり沢山の繋がりを実感する行為でもあります。今日も目の前にある食べ物に「頂きます」の気持ちで手を合わせたいと思います。

理事 牧梓咲

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、配達もしくはFAX(022-284-6973)にて、あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



022-284-7277 平日 9:00~17:00

11/13 (火)・・・年金相談 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

11/13 (火)・・・法律相談 弁護士 松澤陽明氏

13:30~15:30

11/16 (金)・・・思春期相談 臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏

9:30~11:30

11/20 (火)・・・子ども相談 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00~12:00

11/20 (火)・・・くらし相談 消費生活専門相談員 加賀淳子氏

10:00~12:30

▼各相談窓口前週の日曜日までには予約して下さい。随時受け付け可能です。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2018年8月分)

| | | | |
|-----------|-----|--------|-----|
| ささえあい(保障) | 0件 | ◆集団託児 | |
| たすけあい(ケア) | 44件 | 利用延べ人数 | 31名 |
| 集団託児 | 12件 | ◆ケアメイト | |
| 慶弔・出産 | 20件 | 稼働延べ人数 | 70名 |
| 電話相談窓口 | 3件 | | |
| 計 | 79件 | | |



● 運命的な出会いでした!魚嫌いの私が魚好きにした間宮商店の「ほっけ開き干し」

阿部麻利子

生産者さんにあいに行こう! ② 東北おひさま発電の巻

『自立した地域』と『子どもの未来』を創る、 地域エネルギー発電所。



東北おひさま発電
野川3号幹線小水力発電所



朝日連峰を背に田んぼに囲まれた水車小屋
景色が美しい

2017年10月から、あいコープが『パルシステムでんき』の取次を開始したことは、多くの方がご存知でしょう。再生可能エネルギー85% (2018年度計画値)という高比率の電気を供給しています。

今年10月、そのパルシステムでんきの発電産地に『東北おひさま発電』(山形県長井市)が新たに加わりま

した。今回対象となるのは小水力発電所で生まれた電気です。地元山形にこの発電所を作った理由として代表の後藤社長は、『太陽光よりも手続きは大変だし、なかなか認可も下りない。ですが、24時間発電し続ける小水力発電は小規模分散型を多く作ることで、地域に必要なエネルギーは十分生み出せるし、里山の可能性が広がるのです。』といいます。さらに今後の予定として、米沢牛飼育の盛んな置賜地方の特色を生かし、隣の飯豊でバイオガス発電所をつくる構想があるそうです。『子供たちのためにも、地域を元気にしたい。住民と一緒に考え、ワクワクするしかけを作っていきたい。』とこやかに語っていただきました。それぞれの再エネ発電産地にはその地域らしい物語と地域の自立を目指す力強さがあります。想いにあふれた発電産地を、是非応援していきたいものです。



発電には農業用水路を活用



小屋の中にある水力発電機

私たちの暮らすふるさと東北は《自然エネルギー》の宝庫といえます。2011年3月11日に発生した東日本大震災は「再生可能エネルギーによる自立」の大切さを教えてくれました。太陽の力、水の力、風の力、大地の力、生物資源の力など、決して尽きる事の無い「自然から生まれる力」。そのふるさとの恵みに感謝しながら《グリーンな電力》に変えていくことの素晴らしさ。私たちの… 家族にも、職場にも、住まう街にも、みんなの地球にも、限りなくやさしい電力をつくり続けわちあうことが、未来の子どもたちへの最高の贈り物と言えるでしょう。パラダイムシフトは「小さな周縁」から起こります。グローバルからローカルへ。そしてピラミッドから草の根のコミュニティへ…。私たち東北おひさま発電は、未来に向けて共生しあえる「ふるさと東北」づくりの一助として、ふるさとの皆様と手を取りあって『地域エネルギー発電所』を、こころを込めて育てて参ります。

代表取締役社長 後藤博信

Calendar *今後のイベント*

11/7 水 脱原・エネシフ委員会
署名運動 今どうなっている?
原発の現状と運動の展望を
多々良代表に聞く

場所/ 日立システムズホール仙台 エッグホール
時間/ 10:00~12:00
参加費/無料 託児/なし(お子様と一緒にご参加ください)

11/21 水 石けん環境委員会
化粧品学習会 太陽油脂株式会社
素肌改革

場所/ 日立システムズホール仙台 エッグホール
時間/ 10:00~12:00 参加費/無料
定員/ 30名

11/10 土 **畑に行こう**
第8回【落花生・大根収穫】

場所/ 仙台市七郷 あいコープ体験園場
時間/ 10:00~12:00

12/6 木 たねまきプロジェクト
印鑰智哉氏講演会②
遺伝子組み換え食品の危険性

場所/ 東京エレクトロンホール 401 中会議室
時間/ 10:00~12:30 参加費/無料

地区委員さん募集中! 一定例会見学も受付中~

地区委員会は
楽しい!
おいしい!
学べる!!
あいコープの仲間だから
本音トークができます。

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当:組織運営室長 豊嶋)

